



平成 30 年度 建設現場見学会感想文集 (つるぎ高校)

一般社団法人徳島県建設業協会

平成 30 年度高校生の建設現場見学会感想文

◇つるぎ高校 土木コース 2 年生◇

1.川又祐一郎

初めに見学させてもらった新猪ノ鼻トンネルの現場では、徳島県の起点である池田から香川県までの約 4,187m の距離を掘ると聞き驚きました。現場では大きな重機がトンネルを行き来していました。中でも資料館で見たドリルジャンボという重機は土木の教科書でも見たことがなかったため何をするための重機なのか分かりませんでした。トンネル工事の恐ろしさは、爆薬を使用した工事が自分の中では一番恐ろしいと感じました。トンネルに入った際、トンネルの中にも自分の見たことのない機械があったので興味をもちました。

2 目に見学させてもらった井上組が運営する堤防の護岸工事の現場では、IMU センサーというシステムを用いた技術でバックホウやブルドーザーを動かしているところを見て、最近の施工工事はデジタルを使って掘削及び締固めをするのが主流なのだと思います。また授業でこれらの知識を生かしていきたいと思います。

3 目に見学させていただいた高木建設のため池整備工事の現場では、最初に目に入ったのがドローンでした。ドローンは最近になって土木の業界にも導入されたと聞いていたのですが、まさかこんな身近なところで見られるとは思いませんでした。ここでは 3D レーザースキャナを用いてバックホウを動かしていました。最先端の測量技術と重機を使った工事には魅力を感じました。VR の体験では 3D を利用した技術に驚きました。

4 目のこども園の現場では、初の建築工事の分野だったので何も分からなかったのですが、内部にあるいくつかの柱や部屋の構造を見て設計図通りに作るのには難しいと思いました。

今回はお忙しい中建設現場見学会を開いてくださりありがとうございました。

2.岸田康平

私は現場見学会に参加しました。まず初めに香川県にある新猪ノ鼻トンネルに行きました。トンネル工事には、大きな車が何台もトンネル内の岩を運んでいてとてもかっこよかったです。トンネル内には酸素不足にならないために外からの空気を中に入れる工夫をしていました。運悪く発破するときの爆発音を聞くことができなかったのが残念でした。

次に、井上組の現場を見学しました。井上組は、アメリカが開発した GPS とドイツが開発した GNSS の両方を使って工事をしていました。バックホウやブルドーザーにアンテナをつけて情報をうけとりモニターに映し出されて簡単に作業ができて効率が良くなったと現場の人が言っていました。

昼食を済ませた後は、高木建設に行きました。高木建設はため池整備工事をしていました。工事に使うのはレーザースキャナ、ICT 土工、VR、ドローンでした。レーザースキャナはとても精密に画面に点で映し出されていました。ICT 土工では自動で行ってくれるので、1つの工程を4日かかっていたのが1日で終わるようになったそうです。ハイテクな技術を使っていたので魅力を感じました。

最後に岡田組の現場を見学しました。岡田組は穴吹でこども園を建てていました。子供たちが怪我をしない工夫などをしており感心しました。来年の進路にとっても役に立つ現場見学会でした。

また機会があれば現場を見学したいです

3.喜島 輝

11 月 12 日に、一般国道 32 号にある新猪ノ鼻トンネルに行きました。新猪ノ鼻トンネルは、香川県

と徳島県をつなぐトンネルで長さが4,187mあります。人生で初めて、造りかけのトンネルに入って、造るのにとても苦労しているのがわかりました。非常にいい経験になりました。

次に、吉野川加茂第二堤防護岸工事の見学に行きました。ここでは、情報システムを使ったブルドーザーとバックホウがどんな物なのかを実際に見てみました。ブルドーザーを使うときに情報システムを使ってどれだけ掘ればいいのかを見られるようになっており作業ペースがとても早くなったと言っていました。そして、情報システムを利用することによって人員も削減できてとても良かったと言っていました。この現場で、情報システムの凄さがわかりました。

次に、ため池整備工事に行きました。ここでは、地上レーザースキャナを使ったり情報システムを利用した土工を行っていました。VRで完成したため池を見たりドローンで、上空からも見たりしていました。ここでは、実際にバックホウに乗ったりVRを体験したりしました。今までにない体験をできたので良かったです。

最後に穴吹にある穴吹地区認定こども園整備事業新築工事に行きました。ここでは、家を作るときに材料や家がどのように出来ているのか家をたてるうえで準備するものを教えてくれました。

今回は多くの現場見学に参加させて頂き、普段の学習以上の経験ができありがとうございました。ここで学んだことを就職活動に生かしていきたいです。

4.北地智樹

今回建設現場を見学して思ったのが、どの会社も最新の機械を取り入れて、新入社員の人でも取り扱いやすいようにされていると感じました。自分は今まで遠くから現場を見ることがあっても、今回みたいに近くへ行って見ることがなかったので、実際に近くで見られて本当に勉強になりました。また、現場の方の話を聞いて分かったことがあります。あまり休みのない業種だと思っていましたが、実際は週休2日制の会社があったので、びっくりしました。

次に、ドローンで測量をするという現場に行きました。ドローンの作業は空から写真を撮ったりするだけのものだと今まで思っていたので、実際に現場で測量等に使われていると知って驚きました。今回一番すごいと思ったのが3Dのレーザーで写真を作るというものです。写真でないけれどいくつもの点が重なって写真のように見えるというものでした。レーザーでできたものに色を付けただけと言っていたのでこんなにすごいものが作れるのだと思い驚きました。それにその器械の値段にもびっくりしました。今は1,500万円だと言っていたのですが、元は5,000万円すると言っていました。とてもびっくりしました、家が一軒建てられるぐらいだったので驚きました。

自分も今後、建設業に就くことになるので今回現場を見られてとてもよかったです。他の現場ももっと見たいと思いました。

5.下大寺 凜

現場見学会に参加しての感想は、VR体験が一番おもしろかったです。初めて、トンネル工事中のトンネルに入りました。とても太いパイプが通っていたり、見たこともないような機械があり驚きました。後、作るときの作業工程も何個もあり、とても難しそうでした。

次に行ったのが、川の近くの現場です。最近の建設車は、GPSを使って作業していると聞いてすごいと思いました。でも、そっちの方が正確に作業できると思いました。後、操作する人もこっちの方がやりやすく、簡単に作業が進むと思いました。それと、積み重ねていたブロックの岩がひとつ2tもあると聞いて驚きました。

次に行ったのは、ため池の現場です。ここでは、バックホウの操作、VR体験やドローンの体験など

をしました。バックホウの操作は、思ったより簡単でした。一番おもしろかったのは VR 体験です。今まで体験したことのないものだったのでとてもおもしろかったです。最後にドローンを使って、みんなで写真を撮りました。すごかったです。

最後は、こども園の現場に行きました。まだ完成してなかったけど、大体どこがどの場所か教えてくれました。とてもきれいで子供たちも過ごしやすかったです。

建設現場で働く人やそれに携わっている人たちのお陰で、いろんな建物が建っているのが有り難く思いました。今回は、たくさんの建設現場を見学させていただきありがとうございました。ここで学んだことを就職に生かしていきたいです。建設業協会のみなさん、本当にありがとうございました。

6.鈴江蓮音

私は 11 月 12 日に建設現場見学会に参加しました。当日は天気も良くはなく、雨も降っていたのでとても寒い 1 日でした。

まず初めに、新猪ノ鼻トンネルを見学に行きました。トンネルの中はとても空気が悪くて、気分が悪くなりました。しかし、その中で働いている人はとてもすごいと思えました。

次は、井上組の加茂第二堤防護岸工事を見に行きました。ICT の技術を用いて施工をしているバックホウやブルドーザーはとても新しいと思えました。

次に、昼ご飯を食べに行きました。友達と一緒に食べた昼食はとてもおいしかったです。

昼からは高木建設のため池等整備事業を見に行きました。高木建設に私は就職したいと思っているので、昨日の現場見学会で現場を見られてとても良かったです。ドローンや VR、地上レーザースキャナを用いた工事には、とてもすごいと思えました。高木建設にしかない建設機械があると言っていたのでそれもすごいと思えました。VR で現場の完成図を見たときは、この工事はこうなるというのがとても分かりました。

最後に岡田組の穴吹地区認定こども園整備事業新築工事を見学に行きました。幼稚園や保育所は今、とても必要とされている場所なので見学出来てとても良かったと思います。

今回の建設現場見学会を忘れずに、授業で生かしていきたいと思えます。建設会社に進みたいと思っている私にとって非常に良い体験となりました。ありがとうございました。

7.田中蒼士

現場見学会に行きました。最初にトンネル工事を見に行きました。トンネル工事を実際に見る機会はほとんどないので良い体験になりました。またトンネルを掘るのにも最新の技術が用いられていてすごかったです。

次に、堤防工事を見に行きました。そこで ICT を用いた施工を実際に見学しました。その ICT を用いたバックホウやブルドーザーを見て、しっかりと ICT によって制御され正確に作業していて本当にすごかったです。

昼食をとりため池工事を見に行きました。そこでは最新の技術についてよくわかりました。最初に地上レーザースキャナを見ました。これは点と点を測ることによってその長さがわかる機械です。これにより時間が削減されてすごいなと思えました。次に ICT を用いたバックホウを体験しました。時間の関係で体験することはできませんでしたが掘削時にしっかりと制御してきれいな施工ができていてすごかったです。次に VR について説明してくれました。VR では工事の完成イメージを見ることができそこでの危険な箇所などがわかると言っていたのですごいと思えました。これも時間の関係で体験ができなくて残念でした。次にドローンの説明をしてもらいました。ドローンで空撮影作業を行ってそれをデー

タ化するそうです。最新の技術を知ることができて本当に良かったです。

最後にこども園を見に行きました。こども園なのでこどもが暮らしやすい工夫がしていました。

この現場見学会は本当に良い機会でした。この経験を生かしていけるよう頑張りたいです。本当にありがとうございました。

8.豊田優心

現場見学では、4か所の現場に行って実際に体験してみたりすることができる貴重な時間を作っていただきありがとうございました。自分が高校を卒業した時に、もしかすると今日行った現場で働くことになるかもしれません。どこに就職することになっても、今日学んだことが役に立つ事でしょう。その時は、しっかりと聞いたことや体験してやったことをしっかりと生かせたいです。

僕の中ではまだ、ここだという就職先は見つかっていません。しかし、今日、実際に現場に行ってみて、自分に合う仕事はこんな感じかなというのはつかめた気がします。自分の得意分野を生かせる仕事に就きたいと今は思っています。あと少しで、就くところは決めなければいけませんが、僕はあまり力を使う仕事はむいてないと思いますので、その他の事での仕事に就きたいなと思っております。

VR体験や重機操作、ドローンを飛ばすなど、普段できない体験の中で、県内でも頑張れるところはあるといことが分かりました。今のところ、僕は県外就職を考えています。でも、もしかしたら気持ちが変わってしまうかもしれません。その時は、自分の意志をしっかりと持っておき、しっかりとその気持ちに込められて、自分に合ったとこに就きたいです。

この体験で思ったことは、高校の時に習ったりすることがこれからの将来に役立つということが分かりました。自分が仕事をしだした時には、しっかりと、今まで学んだ事を活用していけたらいいです。

9.長家仁聖

11月12日に4ヶ所の現場に行きました。

最初に学校で、出発式をしました。会社の人々を見ると、とても威圧感がありました。でも、挨拶を終えると、皆優しくおどしていました。出発式が終わってバスに乗ると、高木建設の社長の高木さんが挨拶してくれました。最初は話を聞くのが嫌だったのですが、はなしを聞いていると、とてもおもしろくこれからの人生にかかわってくるなあと思いました。話を聞いていると、最初の現場に着きました。

最初の現場では、池田から香川へ抜ける新猪ノ鼻トンネルの工事現場に行きました。まず、小さな建物の中に入ってトンネルのなかの工事について色々聞きました。話の説明が終わって次にトンネルの中に入りました。初めてトンネルの工事に入ったので、とても広くて感動しました。

新猪ノ鼻トンネル工事の現場見学を終えてバスに乗って次の加茂第2堤防工事の現場見学に行きました。少し話を聞いてから2班に分かれました。最初の説明ではバックホウについて説明を聞きました。情報システム活用する工事だったのですごいと思いました。次の説明では、マイクロコンピューター技術について説明を聞きました。初めて聞いた言葉だったのですごいと思いました。

加茂第2堤防工事の現場見学を終わると昼食でした。とても高そうなお店に行きました。とてもご飯はおいしかったです。

昼食を終えると、ため池整備工事に行きました。自分が想像していた池より大きかったので、とてもビックリしました。最初に少し話を聞いてから下に降りて機械に乗る体験をさせてもらいました。次に上に上がってVRの体験もさせてもらいました。自分はVRを見る事が出来なかったなで少し残念でした。最後にドローンを使った空中からの撮影はとてもすごかったです。

ため池整備が終わって最後の現場に行きました。こども園整備に行きました。自分は土木で建築のこ

とはあまり知らないのですが、説明を聞いていたら少しずつ分かってきました。子供が安全にすごせる場所なのでとても考えて作っていると思いました。

学んだこと生かして、自分の将来につなげていきたいです。今回は本当にありがとうございました。

10.早見陸歩

昨日、つるぎ高校の土木科と建設科一緒に現場見学会に行きました。最初に見学をさせていただいた所はトンネル工事を行っている最中でした。

見学させていただいた内容は、最初に爆弾を使って穴をあける事で、その爆弾も昔はダイナマイトを使用していましたが今は含水爆弾といって少しでも危険じゃないように取り組んでいました。トンネルの中で作業をしている人たちに GPS を付けてもしもの時があってもすぐに居場所が分かる技術に驚きました。

2 目に行った現場ではバックホウを使っていて、土木の授業でバックホウは勉強したことがあるので知っているつもりでいたけど、現在使っている最先端のバックホウはアメリカの衛星の情報を受け取り自動で作業するようになっており、とても勉強になりました。

3 目は高木建設の所を見学させていただきました。高木建設では VR による、完成形のものを見ました。また、リモコンを使って自分が実際に移動でき、完成した後の水路の中を見られることによって事前に事故を防止できることがとても感心しました。高木社長は二十一歳で社長になり、私たちでは想像もできない程の苦労があったと思いますが、高木社長は友人に助けられたから、友人だけは大切にしなさいとおっしゃっていた言葉が一番心に残っています。四つ目に見学させていただいた現場はこども園を建設している所で、見学した時にはもう完成に近くなっていたけど、少しでも園児が安全のように建設している所がすごいと思いました。

現場見学会を終えて全ての現場でたくさん学び身になりました。将来自分も高木社長くらいのコミュニケーション能力を持って上司やお客様と話したいと思います。

今回は建設現場見学会を開いていただきありがとうございました。

11.森口陽斗

現場見学会に参加して勉強になりました。

最初に新猪ノ鼻トンネル工事を見に行きました。新猪ノ鼻トンネルを完成させれば香川まで 20 分早く着くと言っていたので、完成できればたくさんの人役に立てると思いました。トンネル工事は手前が 5 人 1 組で奥に進めば、4 人 1 組と言っていたので、もっとたくさん的人数でやっているのかと思いました。周りのコンクリートの厚さも 300 ミリと言っていたのでそれにも驚きました。

2 番目に加茂第 2 堤防護岸工事を見に行きました。そこでは、GPS を駆使したブルドーザーやバックホウの操作などを見てきました。バックホウの操作を聞き、まわりにあった石の重さが 1 トン 2 トンもあることに驚きました。GPS はアメリカやドイツの物を使っていると聞き、日本の GPS ができれば誤差動がなくなると思いました。

次に昼食を取りました。昼食はおいしかったです。

3 番目にため池整備工事を見に行きました。そこでは、3D レーザースキャナマシンコントロールバックホウや VR 体験などをしました。レーザースキャナの映しだした画像はすべて点群で距離も分かるということにも驚きました。バックホウは、行き過ぎた操作をすると止まってくれるというところは、ありがたいと思いました。VR 体験は完成図を見られて行きたい場所ワープをしました。最後にドローンを飛ばすのを見ました。ドローンってすごいなと思いました。

最後に穴吹地区認定こども園整備事業新築工事を見に行きました。中はすごく広かったです。外も見て溝から雨水をだすことも知りました。すごかったです。

この現場見学会でたくさんのことを学びました。バスで移動中にも高木建設の方がいろんなことを教えてくれました。現場見学会で学んだことをこれから活かしていきたいと思います。

12.山本 叶

今回の現場見学会に行って思った事は、トンネルの工事を始めに見学させてもらってトンネルはすごく造るのに時間とお金がかかるものなのだなと思いました。中は暗くて足場も石が多く歩きづらいところが多かったので凄く大変な仕事だなと思ったのと、やりがいのある仕事でもあるなと思いました。工事中のトンネルには入ったことがなくてすごくいろんな事を学ぶことができ、楽しかったです。自分たちが普段使っているトンネルもこんな工事をして造られているのだということにもとても感銘を受けました。

次に、ため池工事の見学ではドローンを使った土木での使い方やレーザースキャナなど、初めて使っているところも見学することができてとても良い経験になりました。VRを使った土木の仕事では、体験をさせてもらって凄く立体的に完成図をVRで見ることが出来ました。VRを使ったのも初めてで非常にいい経験をすることが出来ました。ドローンが飛ぶところも見ることができ、写真撮影もでき、とても良かったです。

今回4つの現場に行かせてもらって思ったことは、土木の仕事は大切な仕事で、とてもやりがいのある仕事で生活に欠かせない仕事だと思えることが出来ました。

自分も人の為になるような大切な仕事に就くことが出来たらいいなと思う事が出来ました。

この度は、建設業協会の方々のおかげで、たくさん建設現場の見学を通して、将来に役に立つ経験ができ、大変感謝しています。ありがとうございました。

13.吉本蒼馬

今回僕は、初めての現場見学でした。初めに高木建設の社長さんがバスの中で色々な話をしてくれていました。心に残ったのは「友達を大切にしろ」と言っていたことです。高木さんは、同級生の友達がいなかったから、今の高木建設があると言っていたので友達は大切にしなければならないと思いました。

1つ目の現場ではトンネルの中に行きました。工夫されていると思ったことは、今トンネルの中に誰が入ったとか、どこにいるのか分かるセンサーを持っていたことです。

2つ目の現場では、機械などを実際に近くで見学させてしたり、機械だけで誤差などが測れることが分かりました。

3つ目の現場では、実際に機械に乗らせてくれました。機械に10センチと入力すると10センチですべて掘ってくれたりするので凄くと思いました。またVRやドローンなどいろいろなことができ、VRは、実際にその場にいるかのように見えてとても分かりやすかったです。ドローンは自分たちが見えないところまで見えて凄かったです。

4つ目は、保育所を建設している所に行きました。遊具などはクレーンで上から吊り上げを行っていて、いろいろ凄くと思いました。

現場見学を終えていい経験になったので良かったです。もし建設業の仕事に進めるなら今日のことを生かし、色々なことを覚えていきたいです。また現場の人がとても優しく指導がとても分かりやすかったので良かったです。今回は現場見学会を開いていただきありがとうございました。

平成 30 年度高校生の建設現場見学会感想文

◇つるぎ高校 建築コース 2 年生◇

1.曾我部好花

私たち 2 年 5 組は 11 月 12 日に現場見学会に参加しました。

最初の場所にバスで向かっているとき、高木さんが沢山のいろんな話をしてくれました。目的地についてバスを降りると、大きいトンネルがありました。まずは小屋の中で説明を聞いてから、その次にトンネルの中に入りました。完成途中のトンネルには入ったことがなかったので、すごく面白かったです。

次に、バスで違うところに行って、機械を 2 つ見ました。難しそうな機械で自分のちょっとした判断ミスも、こういう場だと大きなミスになってしまうから慎重に作業しているのだなと思いました。

次に、池の埋め立て地みたいなどろろに行きました。そこでは VR の体験とバックホウという機械の操作をさせてくれました。VR は初体験だったのですごく面白かったです。自分の家にも欲しくなりました。バックホウの操作も怖かったけど、いい経験になりました。

最後に行ったのは、穴吹の保育所と幼稚園を建築している場所に行きました。思っていた以上に広くて、中を回っているとき、皆でここは多分トイレかな、どこの部屋かなと予想するのも楽しかったです。造るのはすごく大変だと思うけど完成したとき絶対に嬉しいだろうと思いました。

どの見学した場所もすごく面白くて楽しかったです。お昼ご飯を食べたところも美味しかったです。また見学会があるなら、楽しみです。この一日を通していい体験になりました。

2.中川勇希

今日、現場見学会に参加しました。まず初めにいった新猪ノ鼻トンネル工事のところに行きました。そこで思ったことは、トンネル工事は色々作業がありとても大変そうでした。トンネル工事にはドリルジャンボがありそれで爆薬を設置して爆発させてからホイールローダーでベッセルダンプに積んで土を外に出しているとゆうことを初めて詳しく知りました。トンネルの工事を自分が見て大切だと思ったことはコミュニケーション能力が大切だと思いました。

2 つ目に行った井上組さんの第 2 堤防護岸にいてまず見させてもらったブルドーザーを見て自分は建築コースだけどブルドーザーを動かしているのを見て難しそうだと思いました。第二堤防護岸の現場は大変そうだと思いました。

3 つ目に行った高木建設さんのため池整備工事を見に行ったら思ったことは、まず初めに体験させてもらった VR を体験させてもらいました VR はとても安全性がありとてもリアルで現場がスムーズに進みそうだと思います。マシーンコントロールをやっても操縦が難しかったです。

4 つ目の現場に行ったら思ったことは、そこは穴吹地区認定こども園整備事業を担当していた岡田組さんのところではほとんど工事が終わっていて一番気になったのが中庭にあったショベルをどうやって出すのかがわかり色々すごかったです。

この一日の現場見学会はとても自分のためになりました。

3.西岡 玲

この現場見学を通じていろいろなことが学べました。

初めは、猪ノ鼻トンネルに行き、山岳トンネルの施工方法や機械の名前などを教えてもらいました。実際にトンネルの中に入り奥まではいけませんでした。身近に見ることができ良かったのと、思いました。日本で第 3 番目に長いトンネルの施工を見ることができて良かったと思いました。

次に、井上組さんの盛土工を見せてもらいました。地上型レーザースキャナを用いた起工測量や ICT 建設機械なども見る事が出来ました。

次に、みんなで味喜と言うご飯屋で昼ご飯を取りました。将来こんな仕事につくとみんなでわいわいしながらご飯を食べに来たりするのかなと思いつながりながら食べていました。味喜のご飯はとても美味しかったです。

次に、高木建設さんのため池整備工事を見に行きました。つるぎ高校卒業生がたくさんいると聞いてビックリしました。高木建設さんでは VR やバックホウなどいろいろな体験が出来すごくよかったです。ドローンを用いて作業をしている所もすごいと思いました。

最後に、岡田組さんの穴吹地区認定こども園整備事業新規工事を見に行きました。ほぼほぼ完成していたのですが床暖房や排水工事や家の中の鉄骨など、いつもは見る事ができないようなことも見る事が出来たのでよかったです。自分は建築の方に行きたいので新築工事中の家を見ることができてすごくよかったです。本当にありがとうございました。

4.野崎 蓮

今回、現場見学会に参加して、とても有意義な時間を過ごせたと思います。

最初に行った「新猪ノ鼻トンネル」の工事現場では、トンネルの掘り方や使う機材について教えてもらいました。特に「ベッセルダンプ」が印象に残りました。前後にハンドルがついていてバックせずにトンネルを出ることができるというのを聞いて凄いなと思いました。新猪ノ鼻トンネルは開通すれば四国の中で有料なら 3 位、無料なら 2 位というのを聞いて驚きました。

次に行ったのは「加茂第 2 堤防護岸」の工事現場でした。ここでは GPS を使った機械の制御について教えてもらいました。バグホウやブルドーザーにつけているパネルの説明もしていただきました。

2 つ目に行った場所は、高木建設さんの「ため池整備工事」の工事現場でした。ここでは、最初に TLS(地上レーザースキャナ)について教えてもらい、次に ICT 土工と VR 体験に分かれて教えていただきました。VR 体験ではため池整備工事が完成した後の形を見て動いたりすることができました。ICT 土工の方では、バックホウを操縦させてもらいました機械で制御されているので操作が簡単で使い方がわかれば誰にでも使えるなと思いました。

最後に「穴吹地区認定こども園整備事業工事」の工事現場に行きました。ここでは、唯一の建築現場の見学をすることができました。

今回の現場見学会で教えてもらったことを今後に活かしていきたいと思います。

5.藤原 聖

11 月 12 日に現場見学会がありました。

1 つ目は、猪ノ鼻トンネル工事を見学しに行きました。まず、トンネルの説明を聞きました。その次に、トンネルが出来までの説明を聞きました。僕はすごいと思ったのが、含水爆薬を使って穴を開ける事です。説明が終わると実際にトンネル工事現場に行きました。トンネルを作っている途中に行ったのは初めてだったので、凄く楽しかったです。それに、色々な便利な乗り物があって驚きました。いい体験になりました。

2 つ目の現場は、井上組さんの加茂第 2 堤防護岸工事を見学しに行きました。そこではまず、どのような事をするかなどを、説明してくれました。その次に、重機を実際に動かしてくれました。地面を平らにしてくれました。

3 つ目は、高木建設さんのため池整備工事を見学しに行きました。そこでは、地上レーザースキャナ

いいところだと思いました。

8.山口 類

11月12日に行った「現場見学会」で、私はいろいろなことを学ぶことができました。

私は、建築コース選択なので土木関係の仕事について詳しくは知りませんでした。でも、今回の現場見学会を通して、建築のことだけでなく土木関係の仕事のことも知ることができました。

最初に行った「猪ノ鼻トンネル」の工事現場では、仕事上の安全性や、トンネルの仕組みなど、私の知らないことが沢山あり、とても興味がわきました。

埋め立てをしている現場では、将来見るであろう機械が数多くありました。その使い方などを詳しく説明していただき、機械についても知ることができました。

一番心に残っているのは、溜め池工事をしている現場の見学です。VR体験では、ゴーグルをつけることで自分が工事現場のありとあらゆる場所に移動している感じがして、とても不思議でした。そして次に体験した「移動式クレーン車」の操縦は、自分がクレーンを動かしていると実感したとき、とても興奮しました。ドローン撮影が時間の都合上カットされたことは少し悲しかったです。でも、それ以上に貴重な体験ができてとても嬉しかったです。

最後に行った認定こども園新築工事の見学では、実際に建てている途中の建物を見ながら、そこまでの経路を説明していただいたので、とても勉強になりました。

今回の現場見学会で私が知ったことは、とても多かったです。またこの様な機会があれば、参加してみたいと思いました。

9.山崎純芽

今回、初めて地域の土木施工や新築工事の現場を見学させて頂きました。自分は将来、建築の仕事に就きたいと思っているのでとても良い機会だなと思いました。

1つ目に見学に行った場所は「新猪鼻トンネル工事」の現場でした。施工業者は岡山県の会社で県内の会社でない事に少し驚きました。トンネルの工事を見たのは初めてで、穴を掘るのも昔はダイナマイトだったけど、今は水圧で火薬を穴に入れて爆破させているそうです。

2つ目に行った現場は「加茂第2堤防工事」の現場でそこでは、ICTを用いたブルドーザーや、バックホウの説明を聞きました。ICTとは情報通信技術の総称の事でインターネットやパソコンなどを使って生産工程全体の生産性の向上や品質の確保を図るシステムの事です。井上組さんの所の重機は設定すると自動で動いて調節します。それは、人工衛星によって測量されています。

3つ目は「ため池工事」の現場に行きました。VRやドローンを使って測量したり、完成した形を見たりすることができます。

最後に「こども園の新築工事」の現場に行きました。この現場では工事がほとんど終わっていて、中の構造を見たりしました。将来自分は、家やビルなどの建物を造ることを目標としていて、もっとしっかり見て回りたかったです。

今回の現場見学会で、知らない事を沢山知られて良かったし、今後の自分の為に出来ることをやっていこうと思います。

10.山本洋人

今日、現場見学に行ってきました。1日で4ヶ所の現場を見学しました。

1番目に来た場所は、池田あたりから香川に抜けるトンネルの工事現場でした。トンネルを通ったこ

とは何回もありますが、作っている途中のトンネルに入ったのは初めての体験でした。大きな重機が外と中でたくさん行き来していました。トンネルの壁がコンクリートだけで出来ていないということも初めて知りました。何層にもなってあの壁が完成し、それを何千メートルも同じ作業を繰り返しやっているのがすごく大変そうで、でもトンネルが完成したときの達成感は本当に素晴らしいものだろうと思いました。

2つ目に来た場所では最新式のブルドーザーやショベルカーなどの説明をしてくれてこれはどんなものかを聞き実際に乗らせてくれました。コンピューターで読み取られたように動いてくれるのでこれは仕事はかどるだろうと思いました。でも値段がすごく高いのでびっくりしました。

3つ目の前にお昼ご飯を食べに行きました。行ったことない店だったけどすごくおいしかったです。

3つ目に来た場所は高木さんの現場です。ため池の耐震工事をしていました。ドローンを飛ばしたり、1,500万円もする機械も見せてくれました。重機の操縦も見せてくれました。操縦もうまいといわれたので嬉しかったです。

そして最後に来たところは認定こども園です。ほとんど出来上がっていたけどとてもきれいでした。前の国道を通る度に気になっていたのでよかったです。

今日学んだことを、これから先何かのためにいかせるように頑張ろうと思います。すごくいい勉強になりました。